

**【新米教師の奮闘と成長を描く感動的なヒューマンドラマ】**

若手演技派女優ソ・ヒョンジン×ベテラン女優ラ・ミランの豪華共演作

**韓国ドラマ「ブラックドッグ (原題)」**

**5月13日(水)より、ノーカット字幕版で日本初放送!**

CS放送「女性チャンネル♪LaLa TV」(ジュピターエンタテインメント株式会社、東京都千代田区丸の内、代表取締役社長：寺嶋博礼)は、「僕が見つけたシンデレラ～Beauty Inside～」で主演を務め、ラブコメの女神と称される若手実力派女優ソ・ヒョンジンと、「恋のスケッチ～応答せよ1988～」(5月16日からLaLa TVで放送)や「私たちが出会った奇跡」(4月15日からLaLa TVで放送)など、存在感ある演技に定評のあるベテラン女優ラ・ミランのW主演の韓国ドラマ「ブラックドッグ (原題)」を、**5月13日(水)よりノーカット字幕版で日本初放送**いたします。この放送に先駆け、GWの5月3日(日)13:45からは、第1話を先行放送いたします。

本作は、2019年12月～2020年2月までの間、韓国のケーブルTV (tvN) で放送されたばかりの最新ドラマ。ある理由から非正規の新米高校教師となった女性コ・ハヌル (ソ・ヒョンジン) が、コネ採用とあらぬ噂を立てられ孤立しながらも、所属する進学部長のパク・ソンスン (ラ・ミラン) をはじめとする周りの人々に鼓舞され奮闘し、成長する感動のヒューマンドラマです。ぜひ、女性チャンネル♪LaLa TVでお楽しみください。

<http://www.lala.tv/blackdog/>

★★本ニュースご紹介のご検討をお願いいたします★★  
※情報ご掲載の際は、下記の放送情報もご掲載ください

日本初放送

**ドラマ「ブラックドッグ (原題)」 ノーカット字幕版 (全16話)**

放送日時：5月13日(水) スタート

毎週(月)～(金) 13:30～15:15

再放送：同日 21:30～23:15

※第1話のみ5月3日(日) 13:45～先行放送あり

出演：ソ・ヒョンジン、ラ・ミラン、ハジュン、ユ・ミンギョ ほか

**新米教師の奮闘と成長を描く、感動的なヒューマンドラマを日本初放送!**

<番組概要>

バスで修学旅行に向かう途中、交通事故に遭ったハヌル (ソ・ヒョンジン) たち一行。

足を怪我していたハヌルの救出に真っ先に立ち向かったのは、非正規雇用の教師だった。

勇敢な彼の行動によりハヌルは無事救出されたが、彼が帰らぬ人となってしまふ。危険を顧みず救ってくれた恩師の志に強く心を動かされ、ハヌルは教師を目指すようになる。何度もチャレンジするも採用とはいわず諦めかけていた時、採用の連絡が来るものの、“1年間の契約採用”という条件付きだった。

職場では“親戚のコネ採用”とあらぬ噂が広まり、孤立してしまうハヌル。彼女が噂を否定するも、誰も彼女の言葉には耳を傾けようとしなかった。

自分の居場所が無いハヌルは学校をやめよう決心するが、進学部長のソンスン (ラ・ミラン) に鼓舞され、本来目指していたものに気づき奮闘する…。



© STUDIO DRAGON CORPORATION

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ジュピターエンタテインメント(株) 女性チャンネル♪LaLa TV TEL：03-6365-8450

宣伝担当：芝崎 (ShibasakiA@jupiter.jcom.co.jp) / 廣田 (HirotaYu@jupiter.jcom.co.jp)

## 【主演女優：ソ・ヒョンジン インタビュー】

### —ドラマ「ブラックドッグ」について、また主人公・ハヌルについて教えてください。

本作の舞台は学校ですが、生徒たちというより、主に教師の日常に焦点を当てた作品です。私が演じたコ・ハヌルは、過去の出来事にトラウマを抱えていますが、新任の臨時採用教師として高校で働き始める社会人1年生です。社会の縮図とも言える学校で、自らが抱く夢を守りつつも生き残りをかけて孤軍奮闘する人物です。



### —最初に脚本や台本を読んだときのドラマの印象をお聞かせください。

「新しいジャンルのドラマが出現した！」という感じがしました。

学校を舞台にした作品でありながら、生徒ではなく教師側のストーリーを扱う作品は今まであまりなかったので新鮮でした。

### —本作への出演を決めた理由はなんですか？

何よりもジャンルがとても新鮮でした。通常、韓国で制作される学園ドラマは、主に生徒たちに重点を置く作品が多いですが、本作では教師たちの実情や裏事情をととても細かくリアルに描き出そうとしています。ロマンス要素が少ない点も目新しく感じたので、出演を決めました。

### —先生役は今回が初挑戦となります。役作りのために、どんな準備をされましたか？

実際に教壇に立っている臨時採用教師の方々とお会いして、たくさんお話を伺いました。

誰もが生徒として教師との出会いを経験していますが、今回は教師の立場としての行動や感情表現を現場でリアルにつかんで演じる必要がありましたので、序盤に撮影した授業シーンでは実際の教師の方についていただき、授業方法や内容を一緒に確認しながら演じました。臨時採用とはいえ、正規の教師と同じ“教師”であるということに変わりはありませんので、どうすれば本当の教師に見えるかに重点を置いて演じる準備をしました。

### —ドラマの中で一番印象に残っているエピソード、またはセリフがあればぜひ聞かせてください。

第1話の「あなたが留置中にあるのなら、できることは、目が留置に慣れるまでその場に居続けることだけだ」というハヌルのナレーションが記憶に残っています。とても共感できるセリフだったので印象的です。

### —ドラマの序盤では、ひとりで食事をするシーンなど、可哀想で胸が痛むシーンがたくさんありましたね。

最初の数話はハヌルにとってつらいシーンが多いです。個人的に記憶に残っているのは、他の同僚教師たちとは違い、ハヌルに唯一温かく接してくれたソン・ジソン先生が学校を去ることになり、そのおかげでハヌルが契約期間の短縮を免れ1年間の雇用契約書に印を押すシーンです。(下線部は#4のネタバレとなりますのでご注意ください)



### —ハヌルの良きお手本となるパク・ソンスン部長を演じたラ・ミランさんとの共演はいかがでしたか。

ラ・ミランさんとは「僕が見つけたシンデレラ〜Beauty Inside〜」より前に「チャクベ相棒」というドラマで一緒しました。ただ、2作品とも少しか接点がなかったのですが、本格的に共演したのは今回が初めてですね。

ラ・ミランさんというと、アドリブが多くて即興的な演技をする俳優という印象がありますが、そんなことはありません。台本全体を見て、物語の進行や流れはもちろん、衣装などもすべてご本人が直接確認をするんです。後輩たちには、直接的にはではなく何かぼんと投げかける感じでさりげなくヒントをくれます。

明るくて頭が良くて几帳面で、とても良い方です。





—ソ・ヒョンジンさんが演じているコ・ハヌルとご自身では、似ているところはありますか？

演じながらいつも思うのですが、自分が引き受ける役の人物たちは、往々にして自分よりも優れた人物のように感じます。どんな人物であれ、自分自身からスタートして役作りをするので似ているところはありますが、実際の自分よりもポジティブで勇気のある人だと思うことが多いです。



—本作はご自身にとってどんな作品になりましたか？コ・ハヌルを演じたことで、何か学んだことはありますか？

「ブラックドッグ」の撮影を経験したことで、やりたいことがより増えた気がします。何と言っても演技の上手な先輩方がたくさんいらっしまったので演じながらとても楽しかったですし、撮影を終えた今は、もっと演技がうまくなりたいという思いが強くなりました。

—放送を楽しみにしている日本の視聴者に向けて、本作の見どころやメッセージをお願いします。

「女性チャンネル♪LaLa TV」をご覧の皆さま！「ブラックドッグ」は、人生で誰もが1度は出会う教師という存在をリアルな視点で描く、ある意味職業系ドラマとも呼べる作品です。私たちが今まで知らなかった教師という職業の裏側を垣間見る機会になればと思います。最近少し忘れられてしまっている“本来あるべき教師の姿”を思い出しながら、本当の教師とは何なのかを考えさせられる作品でもあります。視聴者の皆さんに気に入っていただけたらうれしいです！



【人物相関図】



## 【人物紹介】



### コ・ハヌル (ソ・ヒョンジン)

高校生の頃、修学旅行中にバス事故に遭い、キム・ヨンハ先生に助けを求めたが、先生は帰らぬ人となってしまった。キム先生の葬式で、先生が実は非正規雇用された臨時採用教師だったと知る。なぜ、臨時教師だった彼がそこまでして自分を助けてくれたのか、その答えを必ず見つけると誓い、**11年後**にハヌル自身も私立テチ高校の臨時教師（1年契約）となる。進学部所属、国語科。3年5組の担任。



### パク・ソンスン (ラ・ミラン)

私立テチ高校 進学部長。国語科。生徒の為なら時間・労力を惜しまず奮闘するなど、ワーカホリック気味だが学校や生徒思いの頼れる大黒柱。入試コンサルタントからの引き抜きの誘いを断り、教師一筋でやっていくと決めた熱血漢。ハヌルのメンター（良きお手本）となる。



### ト・ヨヌ (ハジュン)

私立テチ高校 進学部の国語教師。生徒からの人気ナンバー1で、テレビの教育番組で講師も務めている。非正規雇用で採用された後、異例の1年で正規雇用となった実力者。教師間の派閥や権力争いには一切興味なし。一見、他人に興味がなくクールにも見えるが、実はハヌルのことを人一倍気にかけて世話を焼いている。



### ペ・ミョンス (イ・チャンフン)

私立テチ高校 進学部の生物学教師。正教師になって7年経つが、まだ正教師の中では若手。平和主義のおしゃべり好きでお調子者のムードメーカーだが、パク部長からの信頼は厚い。ハヌルと同じ小学校出身ということで、ハヌルを「後輩」と呼びかわいがっている。



### チ・ヘウォン (ユ・ミンギョ)

私立テチ高校出身、元進学部に所属していたが、現在は3学年部で3年生の国語を担当。非正規雇用で6年務めているが、正規雇用登用に一番近い人物と評されている。正規教師になるため、校長や部長へのアピールに忙しく、常に周りの目を気にしている。ハヌルを“親戚のコネ採用”と勘違いし、ライバル視する。



### キム・ヨンハ (テ・イノ)

ハヌルの高校時代の恩師。修学旅行で起きたバス事故で、足を怪我していたため車内に取り残されたハヌルを助け、事故死してしまう。臨時採用されたいゆゆゆる“臨採教師”だったため、死後、学校側から何の補償もなく、残された家族は悲しみに打ちひしがれた。